

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 335 号	氏名	岩本 直樹
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	青柳 潔	
	副 査	進藤 裕幸	
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、関節症状を有する原発性シェーグレン症候群 (SS) 患者における抗 CCP 抗体測定の意味について検討したものであり、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 原発性 SS 87 例を対象に抗 CCP 抗体を測定し、その後の関節所見の経過を長期観察したもので、研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 87 例中関節症状を有したのは 61 例であった。内 14 例は経過中関節リウマチ (RA) の診断基準を満たし、2 次性 SS と診断された。この 14 例中 10 例 (71%) においてエントリー時の抗 CCP 抗体が陽性であった。RA 基準を満たさなかった残り 47 例中 3 例 (6%) のみが抗 CCP 抗体陽性であった。一方、関節症状を有さない 26 例は全例抗 CCP 抗体陰性であった。よって、抗 CCP 抗体は SS と RA の重複の予測に有用であることが示された。			
以上のように、本論文は原発性シェーグレン症候群における関節症状の病態解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			